

被験者募集のご案内

[内容に関するお問い合わせ先・書類宛先]

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1

TEL 0422-47-8000(内線 2503)

研究責任者 杏林大学保健学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 木村雅彦

現在、木村雅彦研究室では、「口すぼめ呼吸が呼吸運動に及ぼす影響」というテーマについて検討するため、以下の実験について被験者を募集しています。

研究課題名	口すぼめ呼吸が腹式呼吸と胸式呼吸における 胸郭運動の特徴に及ぼす影響
対象者の概要	満 18 歳以上の健常若年男女(喫煙、慢性の呼吸循環器疾患または胸腹部手術の既往、中枢神経疾患や呼吸運動に影響する運動器疾患等の既往、または閉所恐怖症や体内金属および刺青など MRI 検査に適さないものを除外する)40 名程度
実験の概要	<p>口すぼめ呼吸という、呼気つまり息の吐き方の呼吸方法があります。これは呼気時(息を吐く時)に口をすぼめることで気道の内圧が上昇して気道が拡張し呼出しやすくなり、次の吸気時(息を吸う時)に大きく吸うことができるため、一回換気量増加の効果が期待できるものです。我々は口すぼめ呼吸を模した多段階呼気気道陽圧負荷装置を作成し、MRI(磁気共鳴画像)を用いてその気道の拡張効果を証明してきました。一方で、吸気つまり息を吸うときの呼吸運動については、呼吸様式によって腹式呼吸と胸式呼吸の2つに大別されますが、口すぼめ呼吸と組み合わせた際にどちらのほうが効果を得やすいのかについてはまだ良くわかっていません。そこで、腹式呼吸と胸式呼吸の胸郭運動の違いが、口すぼめ呼吸後の吸気にどのような影響を及ぼすかを目的とする研究への参加をお願いします。</p> <p>なお、理学療法士および診療放射線技師の資格と豊富な経験を有する教員の直接指導のもとで、研究の一部を理学療法学専攻の学生が担当いたします。</p>
実験時間	概ね 120~180 分程度
実施期間	2024 年 6 月 28 日 ~ 2027 年 10 月 1 日
謝礼	あり ・ なし
申し込み方法	<p>■ メール または Microsoft Forms(QR コード)による応募をお願いいたします。</p> <p>① 応募先: ptkimura@ks.kyorin-u.ac.jp</p> <p>② メール本文へ以下をご記載ください:</p> <p>-----</p> <p>氏名:</p> <p>連絡先(メールアドレス):</p> <p>希望する曜日・時間帯など:</p> <p>-----</p> <p>※メールでのご連絡または QR コードによる登録をいただきましたら、折り返しこちらからご連絡をいたします。</p> <div data-bbox="1054 1637 1401 1966"></div>